

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成30年10月10日

計画の名称	小城市における下水道普及の推進												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	小城市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,433	A	5,433	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H26年度末	中間目標値 H29年度末	最終目標値 H31年度末
1	下水道処理人口普及率を41.2%(H26年度末)から48.8%(H31年度末)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/小城市の行政人口(人)	41%	47%	48%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	北部污水幹線枝線整備	A=0.8ha	小城市						30	-	
	A07-002	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	江津ヶ里污水幹線枝線整備	A=0.5ha	小城市							17	-
	A07-003	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	牛津中央污水幹線枝線整備	A=0.6ha	小城市							23	-
	A07-004	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	西部污水幹線枝線整備	A=0.2ha	小城市							8	-
	A07-005	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	友田污水幹線枝線整備	A=3.0ha	小城市							111	-
	A07-006	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月污水1号幹線枝線整備	A=10.5ha	小城市							479	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月汚水3号幹線枝線整備	A=5.0ha	小城市						213	-	
	A07-008	下水道	一般	小城市	直接	小城市	終末処理場	新設	三日月浄化センター 水処理施設増設	土木・建築・機械・電気設備	小城市						1,503	-	
	A07-009	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月汚水1号幹線整備	L=610m	小城市						179	-	
	A07-010	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線1号枝線整備	A=0.4ha	小城市						16	-	
	A07-011	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線2号枝線整備	A=3.5ha	小城市						156	-	
	A07-012	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線3号枝線整備	A=0.6ha	小城市						26	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線4号枝線整備	A=2.6ha	小城市						113	-	
	A07-014	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線5号枝線整備	A=1.8ha	小城市							77	-
	A07-015	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線整備	L=270m	小城市							80	-
	A07-016	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	小城三日月汚水幹線整備	L=1,010m	小城市							214	-
	A07-017	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月汚水2号幹線整備	L=1,200m	小城市							540	-
	A07-018	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月汚水2号幹線枝線整備	A=16.1ha	小城市							718	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-019	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	西部1号污水幹線整備	L=900m	小城市						356	-	
	A07-020	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	西部1号污水幹線枝線整備	A=2.2ha	小城市						100	-	
	A07-021	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	中央污水幹線整備	L=830m	小城市						271	-	
	A07-022	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	中央污水幹線枝線整備	A=0.6ha	小城市						25	-	
	A07-023	下水道	一般	小城市	直接	小城市	ポンプ場	新設	仁俣中継ポンプ場新設	土木・建築・機械・電気設備	小城市						111	-	
	A07-024	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	本町污水幹線枝線整備	A=0.4ha	小城市						67	-	
												小計					5,433		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						5,433		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
小城市下水道課にて中間評価を実施	平成30年8月
	公表の方法
	小城市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率が41%から46%となり、下水道を使用できる人が18,954人から20,629人となり、1,675人増えた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後は、整備後速やかに効果が期待できる地域を主に事業を実施し、効率的かつ効果的な整備を行い、未普及解消に向けて事業を進めていく。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	下水道を利用できる人口（人） / 小城市の行政人口（人）		
	中間 目標値	47%	対象事業のうち、小城処理区からの汚水の受け入れ態勢を整えるために処理場の増設工事および幹線管渠工事を優先したことから、面整備の進捗が進まなかったことにより普及率が伸びなかった。
中間 実績値	46%		